

アサンテサーナ

明治・大正・昭和・平成と大宮高校 130 年の歴史を重ねて迎えた令和元年の同窓会・・・
新たな気持で身の引き締まる想いがしたのは私だけだろうか。

今年も 320 名ほどの出席者で帝国ホテル・富士の間は賑わった。

宮崎の弦月同窓会から副会長の原田紀子さん、谷口善雅さん、事務局の向田久美子さんのお三方が参席された。事務局の向田さんは弦月同窓会の連絡窓口として長年に亘りご尽力された。今般勇退されて当会への参加は初めてであった。谷口副会長が来賓挨拶の中でその労をねぎらいつつ会場の参列者に紹介した。会場からあたたかい拍手が起きた。心温まる爽やかな光景でした。向田さんには東京弦月会も大変お世話になりました。あらためて感謝申し上げます。

このように、どこの同窓会にも人には見えない汗を掻いている人が居るものです。東京弦月会でも毎年のように多くのスタッフが見えない汗を掻いている。

企画、運営、広報、ITの各部は1年前から具体的な活動に入る。

実行チームは総会、懇親会のアトラクション、応援団演舞の構成演出を担当学年幹事と協議し詰めてゆく。事務局はこれらの動きの中でスケジュールを調整し、各担当との連絡にでんてこ舞いしている。学年幹事は同期生への連絡に奔走する。いやはや、全く汗を掻いていない自分は恥じ入るばかり・・・！

こうしたバックヤードで汗を見せない人たちの努力で今年はひと味違ったアトラクションが企画された。11 回生で映画「風に立つライオン」のモデルになった柴田紘一郎さんのトークショー。青年海外協力隊の一員としてアフリカのケニアで医療活動をした経験を映像を交えて話された。紙幅がないので多くは書けないがトークの中で「人を何人も殺しました」と眩かれた。病や怪我に苦しむ人々に手を尽くしても尽くしても救えなかった命があるということか。そんな人々から言われて救われた言葉があると・・・

『アサンテサーナ』・・・スワヒリ語でありがとうの意。

私も今更ながらではあるが学年幹事、スタッフの皆さんに心からお伝えしたい

『アサンテサーナ』・・・と。

東京弦月会 会長・藤 田 洋 一